

厳浄寺のとりくみ・特色

楽しく仏教に触れる子ども教化活動



併設の厳浄寺保育園園児を対象に、体験を通して楽しく仏教に触れる本堂参詣を毎月開催。宗旨・宗派にとらわれずお寺や仏様の教えに親しんで欲しいというコンセプトで活動しています。保育園児と地域の方、門徒さんの交流活動もおこなっています。参加されたい方はぜひお声かけください。



厳浄寺保育園
ホームページ

真宗興正派鹿児島教区の所属寺院として

鹿児島別院を中心に 24 カ寺の寺院で、法要や講演会、研修会等にとりくんでいます。所属寺院同士で築く互助関係により門信徒の皆さまにも安心を感じていただいています。



永代経法要 近隣寺院との勤行

鹿児島興正寺別院での法要

お寺の様子や活動は厳浄寺の Instagram に掲載しています

ver.2_R6.7



8GONJOUJI_TEMPLE



厳浄寺
ホームページ



法祥庵



〒 899-3302 日置市吹上町中之里 862

☎ 099-296-2178



ホームページ

真宗興正派

慧光山
厳浄寺

厳浄寺

厳浄寺のあらまし

慧光山厳浄寺は真宗興正派の寺院で、その歴史は明治11(1878)年までさかのぼります。

現在の鹿児島県と宮崎県の一部が、薩摩藩(島津氏)の支配下にあった時代、この地方では浄土真宗(一向宗)は禁じられていました。厳しい弾圧が繰り返される中においてもお念仏を決して捨てず、洞窟や家財に本尊を隠し信仰を守りぬいてきた、その史跡・史料は現在「かくれ念仏」と呼ばれています。また明治時代に入ると、廃仏毀釈により鹿児島県の寺院1066ヶ寺の全てが廃止され、2964人の僧、全てが還俗しました。

明治9(1876)年9月「信教の自由令」が布達され念仏禁制が解かれると、東西本願寺が開教使を鹿児島へ送るなか、興正寺の第27世本寂上人は自ら薩摩の地に立ち念仏の教えを説き弘めました。

厳浄寺は鹿児島開教から2年後の明治11年に設立認可、その翌年には説教所として開設されました。当時の躯体を残す本堂や本寂上人の邸宅に安置されていた親鸞聖人絵像などを門信徒の力によって現在につたえています。

浄土真宗薩摩開教の黎明期

その頃の本堂をいまに伝えています



明治11(1878)年に設立願いが本山興正寺に出され、翌明治12(1879)年1月に上棟されたことを示す棟板が本堂に展示されています。厳浄寺本堂は明治初期の廃仏毀釈・真宗薩摩開教から間もない頃の説教所(真宗寺院)を現代につたえています。

法祥庵

維持しやすいお墓を求められる方や、ご実家の仏壇終いをされた方など、近年のご門徒さんの傾向を汲み取り計画した納骨施設になっています。

納骨壇は川辺仏壇の職人の手によって一基ずつ塗りや蒔絵が施されたモダン仏壇調になっています。おしゃれな納骨壇をお求めの方にもおすすめです。

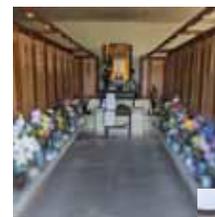


法祥庵 紹介ムービー

厳浄寺ホームページより動画が再生されます



境内納骨堂



屋外のお墓のように仏華、蠟燭、線香を供えることができる納骨施設です。

本堂隣接の納骨室



遠方にいらっしゃる方の問い合わせに対応する形で設置した納骨施設です。ロッカー型の納骨段と参拝用の仏間を設けています。

法祥庵 納骨壇加入冥加金 75万円

年間維持管理費 5,500円(年間)

内訳

納骨壇維持費	2,000円
寺維持費	2,000円
法要費	1,500円

お骨を預かり放しにするのではなく、春・秋の永代経と浄土真宗の主要な法要である報恩講、納骨堂お盆法要等をお勤めします。

維持管理費を前納する

永年管理も承ります

現在、法祥庵に限定しています

維持管理費の前納制度は、以降の年間維持管理費の支払いがないので、いまのお寺のご門徒を変わることなく納骨壇を利用したい方にもおすすめです。

問い合わせ先

〒899-3302 日置市吹上町中之里 862

☎099-296-2178 厳浄寺